

## 9 竹炭による環境保全サイクルを定着させたい

めざせ! 紫川を日本一の清流にするプロジェクト2010  
~“山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業~

団体名 中谷地区まちづくり協議会

主な活動地域 福岡県 北九州市小倉南区中谷地区



## 目的

中谷地区は北九州市のシンボリックな河川である「紫川」の上流域に位置し、紫川や豊かな自然の恩恵を受けてきた地域であるが、近年放置された孟宗竹の増殖や里山の生態系の激変などによる水質悪化など多くの問題を抱えている。同団体では、川を軸としたふるさとの自然環境を守り、美しい水環境と中谷の原風景を次世代に受け継ぐことと地域の活性化を目的に伐採した竹を活用した環境保全サイクルを構築し、地元の小学生への環境教育を行うなど、活動の輪を広げている。

## 実施内容

これまで行ってきた地域の問題「増えすぎた竹」を活用した環境保全サイクル活動(増えすぎた竹を伐採、伐採した跡地に広葉樹を植樹し里山・水源を保全、伐採した竹で竹炭をつくり紫川へ投与し水質を浄化、使用済みの竹炭を畑にいれて野菜づくりに活用)を地域の住民・企業・行政・NPOなどの協力によって推進し、定着させる。また今年度は、北九州市の水瓶である「鱒淵ダム」付近への竹炭の投与や、増えすぎた葦の伐採、堆肥化等の活動の他、環境啓発活動として、廃校の校舎を利用した1日環境学校を計画し、市内在住の小学生とその保護者を対象に、竹炭づくり体験や山の見学、中谷地区の歴史の講義なども実施する。さらに、竹炭栽培の地元野菜のブランド化を図り、地域の活性化につなげる。

## 選考委員のひとこと

問題になっている竹や葦をただ単に取り除こうとするのではなく、環境浄化サイクルを人工的に構築することで問題解決をしようとする姿勢は、評価できる。暑い最中の視察だったが、メンバーの環境に対する情熱はさらに熱かった!

TOTO 物流技術部 Kさん記

ボランティアに参加しよう!

- ★竹炭を活用した環境保全サイクル活動 2010年10月～2011年9月
- ★葦の除去作業の実施 2010年10月～2011年2月
- ★紫川上流のゴミ清掃 2011年7月～8月



川に沈めた竹炭を確認するメンバーと選考委員



増えすぎた葦も問題になっている



川の浄化に使った竹炭を今度は畑へ。ブランド野菜になあれ